

11月22日は「いい夫婦の日」！2017年度「いい夫婦の日」キャンペーン

# 「2017年度いい夫婦の日」アンケート調査結果

「いい夫婦の日」をすすめる会は、11月22日の「いい夫婦の日」に先駆けて、「2017年度いい夫婦の日」アンケート調査(調査方法:インターネット調査、調査対象:全国の男女既婚者1,000名)を実施しました。本調査は2007年より毎年実施しています。その結果、以下のような夫婦の実態が浮き彫りとなりました。

※ 過去の調査は右記 URL にてご覧いただけます。(URL: <http://www.fufu1122.com/event/questionnaire.html>)

## トピックス

- 1) 「夫婦円満」約8割、昨年より1.3ポイントアップ。妻より夫のほうが円満と感じている！
- 2) 結婚前の交際期間、トップ3「1年～2年未満」、「半年～1年未満」、「2～3年未満」  
今のパートナーを選んだ理由 TOP3「性格」、「優しさ(思いやり)」、「フィーリング」  
「別の人が選ぶ」層では、「なんとなく」といった情性
- 3) 生まれ変わったら、「もちろん今の相手を選ぶ」4割弱
- 4) 夫婦円満のため大切だと思うこと TOP3、「話をする・聞く」、「信頼する」、「程よい距離感」  
パートナーとよく話し、お互いを信頼しつつも、程よい距離感を保つことが夫婦円満の秘訣！
- 5) 夫婦の会話の話題トップ3、「休みの予定」、「子ども」、「食事」
- 6) 普段夫婦で一緒にすることトップ3、「買い物」、「外食」、「国内旅行」
- 7) パートナーにプレゼントを贈る頻度は「年に1回程度」が最も高く、贈られると「優しくなれる」・「仲よくなる」・「会話が増える」

## 1) 「夫婦円満」約8割、昨年より1.3ポイントアップ。妻より夫のほうが円満と感じている！

夫婦は円満だと思うかとの問いに対し、「とても円満」(28.4%)と「まあ円満」(48.1%)を合計した「円満(計)」は76.5%と昨年より1.3ポイントアップしました。性年代別でみると、男女ともに「円満(計)」は10代・20代が最も高くなっています。

Q: 現在、あなた方ご夫婦は円満だと思いますか。[単数回答]

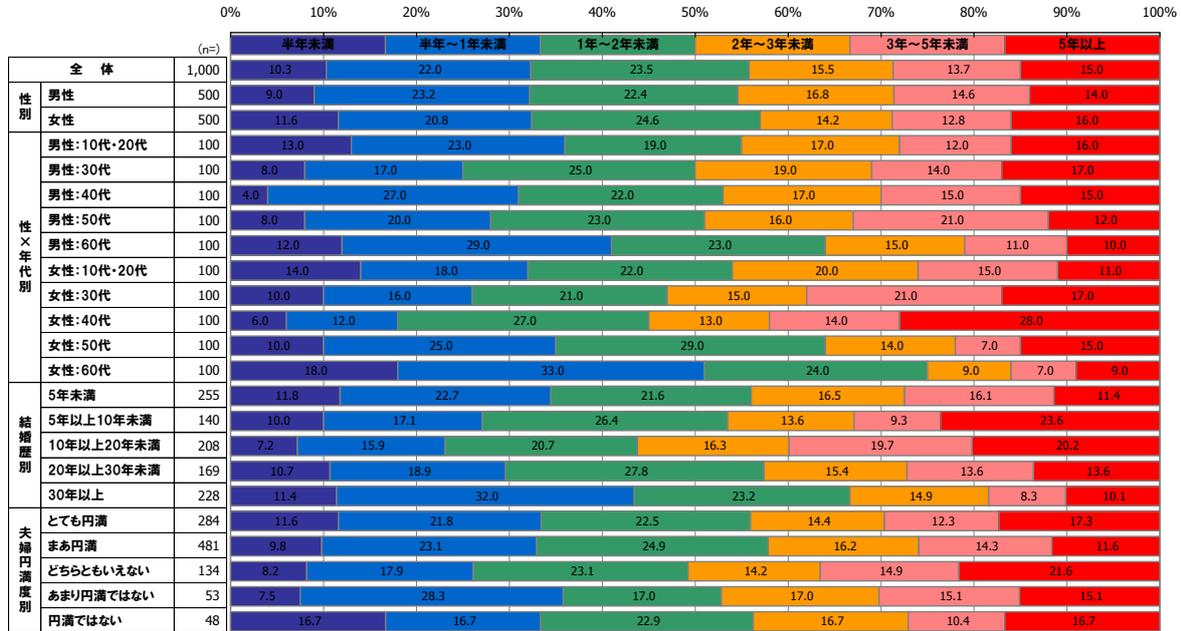


※本リリースの調査結果をご利用頂く際は、「『2017年度いい夫婦の日』アンケート」とご明記下さい。

## 2) 結婚前の交際期間、トップ3「1年～2年未満」、「半年～1年未満」、「2～3年未満」 今のパートナーを選んだ理由 TOP3「性格」、「優しさ(思いやり)」、「フィーリング」 「別の人を選ぶ」層では、「なんとなく」といった情性

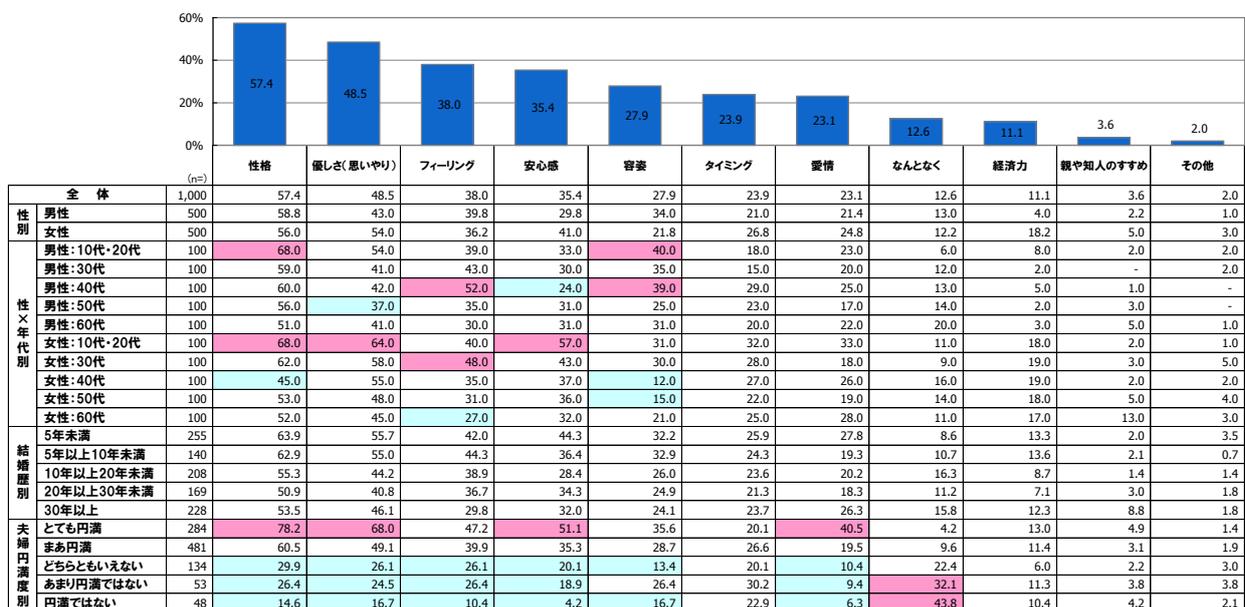
結婚前の交際期間は、「1年～2年未満」(23.5%)が最も割合が高く、次いで「半年～1年未満」(22.0%)、「2年～3年未満」(15.5%)と続いています。夫婦円満度別でみると、円満(計)では、「1年～2年未満」が最も高く、「あまり円満ではない」層のおよそ3人に1人が「1年未満」と、「円満ではない」層の約16.7%が「半年未満」と回答する結果になりました。

Q: あなた方ご夫婦は、ご結婚前にどのくらいの間お付き合いされていましたか。[単一回答]



「今のパートナーを選んだ理由」は、「性格」(57.4%)が最も高く、次いで「優しさ(思いやり)」(48.5%)、「フィーリング」(38.0%)となっています。性年代別でみると、男女10代・20代では「性格」が7割弱で他層より高く、男性40代・女性30代では、「フィーリング」が5割前後で他層より高くなっています。また、夫婦円満度別でみると、「とても円満」層では「性格」・「優しさ(思いやり)」・「安心感」・「愛情」が全体より10ポイント以上高くなっている一方であまり円満ではない・円満ではない層を合わせた円満ではない(計)では、「なんとなく」が全体より10ポイント以上高くなっており、情性でなく、相手の色々な魅力を知ることで、夫婦円満につながる傾向があるようです。

Q: 今のパートナー(夫もしくは妻)を選んだ理由を教えてください[複数回答]



### 3) 生まれ変わったら、「もちろん今の相手を選ぶ」4 割弱

生まれ変わったら、今のパートナーを選ぶかでは、「もちろん今の相手を選ぶ」が 34.4%、「どちらともいえない」が 44.5%、「別の人を選ぶ」が 21.1%となっています。性年代別でみると、男女 10代・20代は「もちろん今の相手を選ぶ」が 5 割前後と他層よりも高い一方で、30代以上の女性では「別の人を選ぶ」が 25%以上と、他層より高めとなっております。若いうちは夫婦ともに愛情を持っているものの、特に妻の愛情が下がる傾向にあります。

Q: 生まれ変わったとしたら、今のパートナー(夫もしくは妻)を選びますか。[単数回答]

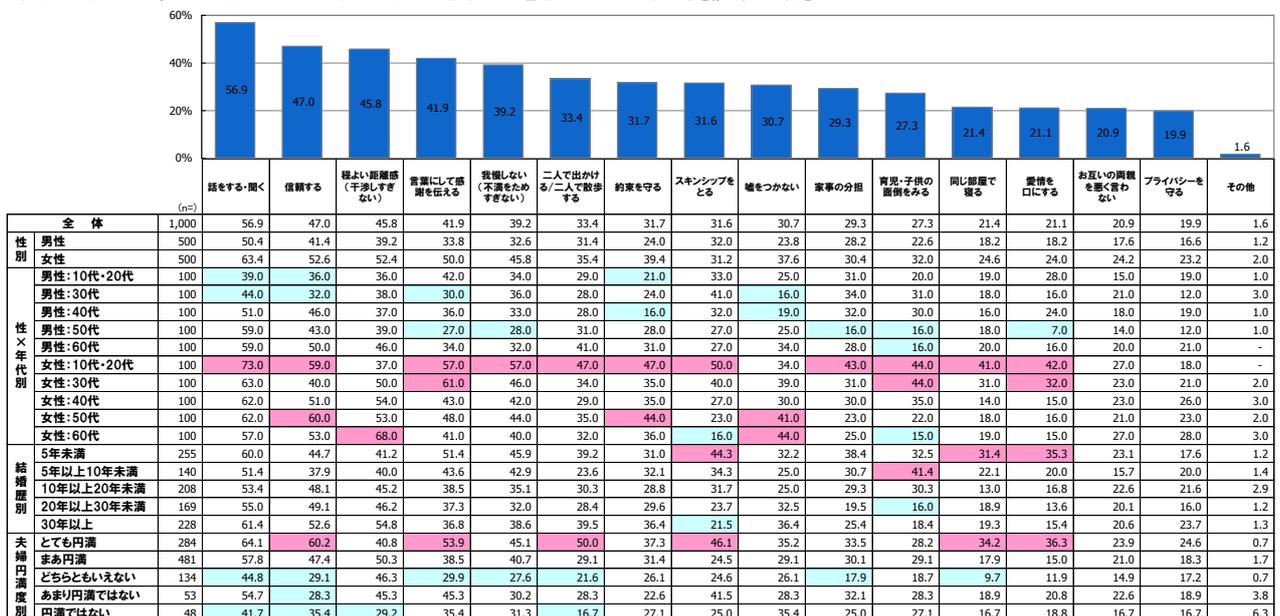


### 4) 夫婦円満のため大切だと思うこと TOP3、「話をする・聞く」、「信頼する」、「程よい距離感」パートナーとよく話し、お互いを信頼しつつも、程よい距離感を保つことが夫婦円満の秘訣！

夫婦円満のために大切だと思うことのトップ 3 は、「話をする・聞く」(56.9%)で、次いで「信頼する」(47.0%)、「程よい距離感(干渉しすぎない)」(45.8%)、と続き、お互いを信頼しつつも、程よい距離感を保つことが重要という結果となっています。特に「話をする・聞く」「信頼する」が 10代・20代の男女で約 30 ポイントかい離しており、若い夫婦間での意識差が窺えます。

また円満度別においては、「とても円満」層が 6 つの項目で全体より 10 ポイント以上高いという結果になる一方、「どちらとも言えない」層・円満ではない(計)では全体より 10 ポイント以上低い項目が多く散見されます。

Q: あなた方ご夫婦が円満のために、大切だと思うことを教えてください。[複数回答]

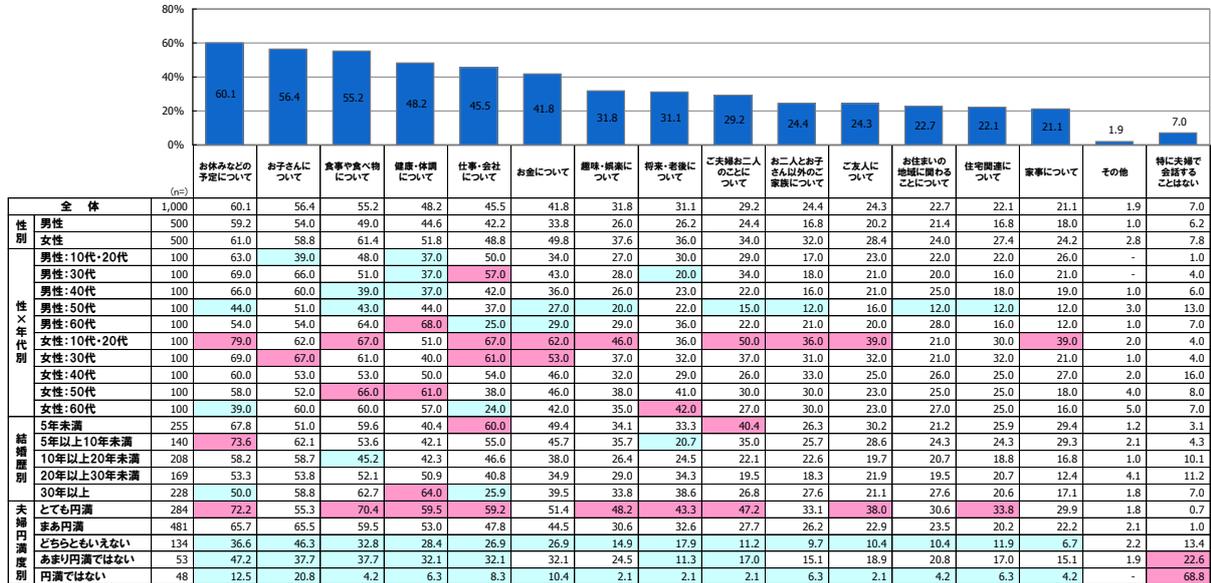


## 5) 夫婦の会話の話題トップ3、「休みの予定」、「子ども」、「食事」

夫婦で会話するときの話題では、「お休みなどの予定について」(60.1%)、次いで「お子さんについて」(56.4%)、「食事や食べ物について」(55.2%)と続いています。

夫婦円満度別でみると、「とても円満」層が「趣味・娯楽について」(48%)「ご夫婦お二人のことについて」(47%)「ご友人について」(38%)と他層より15ポイント以上高くなっている一方で、円満ではない層は「特に夫婦で会話することはない」と回答した方が68.8%と他層を大きく上回っています。夫婦円満において「会話」の重要性が窺えます。

Q: ご夫婦で会話される時の話題について、あてはまるものをすべてお選びください。[単数回答]



## 6) 普段夫婦で一緒にすることトップ3、「買い物」、「外食」、「国内旅行」

普段夫婦で一緒にすることは、「買い物」(57.8%)、次いで「外食」(54.5%)、「国内旅行」(49.4%)と続いています。「結婚歴10年未満」層では「育児」の割合が全体を10ポイント以上上回っている一方、「30年以上」層では、「国内旅行」が60%で他層より高くなっており、ライフサイクルに合わせた夫婦間のコミュニケーションが必要なことが分かります。

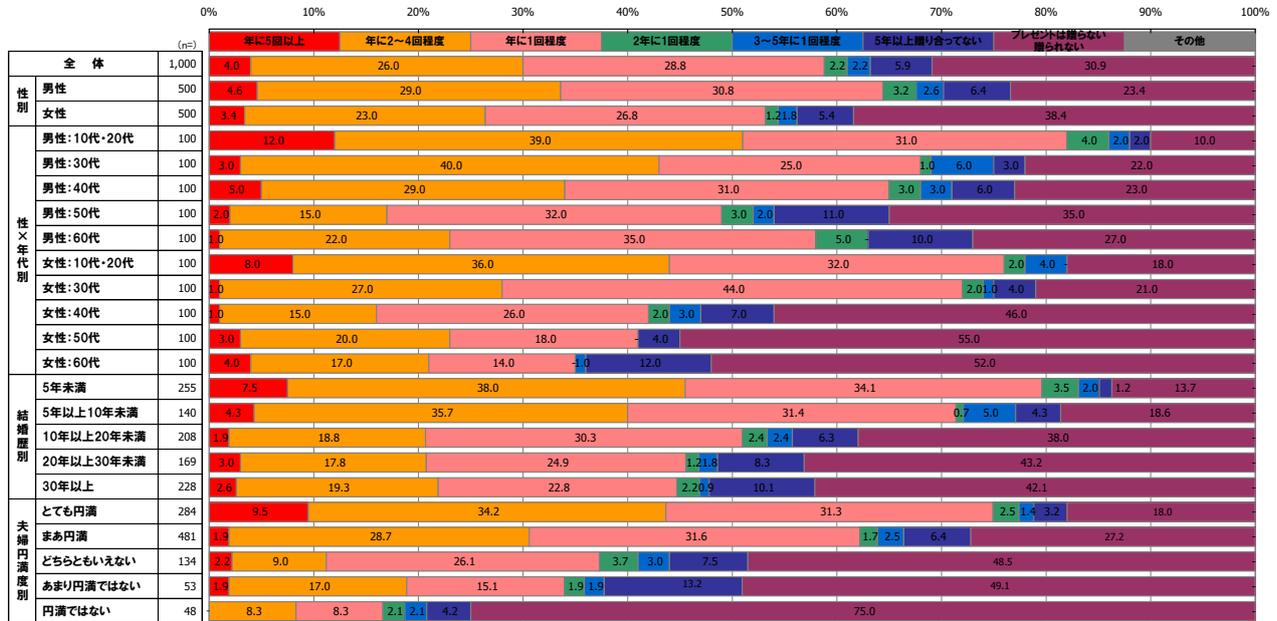
Q: 普段ご夫婦で一緒にされていることをすべてお選びください[複数回答]



## 7) パートナーにプレゼントを贈る頻度は「年に1回程度」が最も高く、贈られると「優しくなれる」「仲よくなる」「会話が增える」

パートナーとプレゼントを贈り合う頻度は、「年に1回程度」が28.8%で最も高く、「年に2~4回程度」が26.0%で続き、「プレゼントは贈らない・贈られない」層が30.9%存在する結果となりました。夫婦円満度別でみると、「とても円満」層は4人に3人が年に1回以上プレゼントを贈っていると回答する一方で、円満ではない層は16.6%にとどまり、「プレゼント」が夫婦関係を如実に表わしているという結果となりました。

Q: あなたがパートナー(夫もしくは妻)にプレゼントを贈ったり贈られたりする頻度を教えてください。[単一回答]



またパートナーからプレゼントを贈られた後の夫婦仲の変化について尋ねると、「優しくなれる」(47.3%)、「仲よくなる」(46.7%)、「会話が增える」(44.8%)と続きました。特に10代・20代の女性においては6割以上が「優しくなれる」、「仲よくなる」と回答するなどプレゼントの効果が窺える結果となりました。

Q: パートナー(夫もしくは妻)からプレゼントを贈られると、夫婦仲に次のような変化がありますか。[複数回答]



## ■調査概要

調査方法: インターネット調査

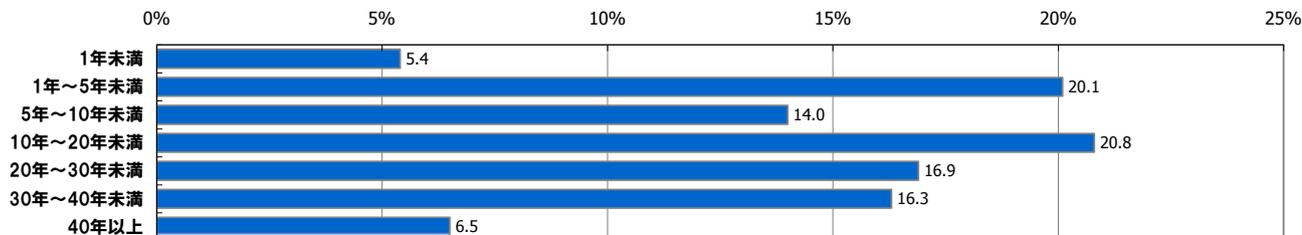
調査エリア: 全国

調査対象: 男女 18 歳～69 歳の既婚者

調査サンプル: 1,000 サンプル(性別、及び、年代別に割付)

調査期間: 2017 年 10 月 20 日～24 日

## ■結婚歴



## <参考>

### ■「いい夫婦の日」をすすめる会(URL: <http://www.fufu1122.com>)とは

1985 年に政府が「ゆとりの創造月間」を 11 月に制定。

1988 年には、財団法人余暇開発センター(現: 公益財団法人日本生産性本部)が夫婦で余暇を楽しむライフスタイルを提唱しました。それをきっかけに新しく制定されたのが「いい夫婦の日」です。日付は、「いい夫婦」との語呂合わせで 11 月 22 日に決定したといわれています。

同センターによる普及のためのキャンペーンは 1988 年より実施。その後、一般社団法人日本ボディファッション協会の塚本能交会長が「いい夫婦の日」の趣旨に賛同され、ファッション・アパレル関連業界による「いい夫婦の日」をすすめる会(7 団体・2,200 社)が発足しました。

1998 年には新キャンペーンがスタート。「いい夫婦の日」は夫婦を単位とした新しいライフスタイルの提案とモラルの啓発活動と併せて、新しいマーケット・モチベーションの創出を目的として広がっています。

また 2014 年より一般社団法人日本メンズファッション協会に事務局を移し、協会事業として活動しております。

現在は、構成団体・協賛企業・協力企業が同じプログラムのもとに共同の販促プロモーション活動を行い、産業界にとってのビジネス拡大にも寄与しています。